

●ガイドする

対面型

学校訪問した際に、学校構内を案内する

- ①学校構内で案内したい場所を決める。
- ②教室など学校の場所の名前や、「ここは～です。～があります」など、場所を案内する日本語または韓国語の表現を学び、口頭練習しておく。
- ③交流場面ではパートナーを決めて(個人またはグループで)、学校構内を歩きながら案内する。
- ④生徒同士、自分の学校との違いや同じ点を話し合う。

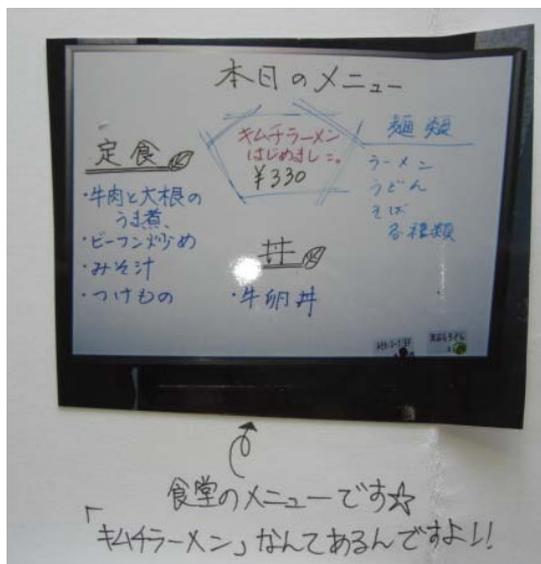


(写真) 日本の生徒に学校案内をする韓国の生徒たち

非対面型

学校案内資料を作って送る

- ①学校構内で案内したい場所を決める。
- ②教室など学校の場所の名前や、「ここは～です。～があります」など、場所を案内する日本語または韓国語の表現を学び、話す(書く)練習をする。
- ③資料を動画(動画にリンク)にする場合には、ビデオを持って学校構内を回り、生徒がレポーターとなって、その場所を紹介する。パワーポイントや画用紙を用いて案内資料を作成する場合には、案内したい場所の写真を撮って、日本語と韓国語のコメントを書き添えて相手校に送る。
- ④資料を交換し、自分の学校との違いや同じ点について気がついたことを発表し合う。



>>実践例はこちら

Ⅲ「7 学校を紹介しよう」

(写真) 学校の食堂を紹介した日本の生徒の資料から